

世界自然遺産登録 20 周年記念 しまのがっこう

島の政策研究会 第3回

# “自然エネルギーで電力自給”の島から学ぶ

日時 2013年2月28日(木)

18:00~20:45 (17:45 開場)

会場 地球環境パートナーシッププラザ セミナースペース

渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル1階

東京メトロ表参道駅徒歩約5分、JR 渋谷駅徒歩約10分

定員 40名(先着順)

参加費 1,000 円(資料代として)

屋久島は今年、世界自然遺産登録 20 周年を迎えました。  
豊かな水で島の生命がはぐくまれ、島人の暮らしが成り立っています。  
水資源を利用した産業も興っています。  
水力発電は、島の電気の需要をまかない、多くの雇用をもたらしました。  
地域の配電は電気利用組合などが行っています。  
その屋久島から、電力自給と地域配電の事例を学びたいと思います。

## 事例発表「屋久島の電力事情」

講演 倉阪秀史氏

「地域のエネルギーを活用する社会に向けて  
～島から始まるエネルギー革命～」

グループディスカッション 星野智子氏

「自然エネルギー活用でつくる島の産業、持続可能な  
地域社会」

ミニライブ えぐさゆうこ氏

「屋久島古謡と民話語り」

参加者交流

※内容など変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

※詳しくは島交流の会ホームページをご覧ください。

主催 かがしま・島交流の会、自然エネルギー千葉の会、市民キャビネット農都地域部会

協力 エコメッセちば実行委員会、いぬみ郷、環境パートナーシップ会議、屋久島移住ネットワーク・緑の風ほか



## 出演者のプロフィール

倉阪秀史(くらさかひでふみ)氏  
千葉大学大学院人文社会科学  
研究科教授。環境庁で環境基本  
法などの立案に従事。地域内で  
エネルギーや食糧需要を賄う  
ことのできる「永続地帯」の概念  
を提唱。



星野智子(ほしのともこ)氏  
一社)環境パートナーシップ会議  
副代表理事。地球環境パート  
ナーシッププラザの運営に関わり、Rio  
+20 地球サミット NGO 連絡会幹事  
など市民活動に多く携わる。



## えぐさゆうこ氏

唄い手、ナレーター、アナウンサー  
、声優。シマ唄に魅せられ、唄の  
世界へ。父の生まれ故郷である  
屋久島の唄を探す旅で幻の名曲  
「まつばんだ」に出会う。



お申し込みはホームページの申込フォーム、またはFAX(044-211-9930 宛、氏名・連絡先を明記)でお願いします。

連絡先 かがしま・島交流の会 TEL 080-5485-1440 (担当:杉浦)

事務局:〒211-0003 川崎市川崎区堀之内町 7-27-208 E-mail:shimakouryu@iju.jp http://shimakouryu.iju.jp/